

中井弘一先生退職記念号に寄せて

東 條 加寿子

教育・研究に精力的に邁進してこられた中井弘一先生が2016年度末で大阪女学院大学をご退職になります。中井先生と言えば、何と言っても、教員養成センター長としてのご活躍です。大阪女学院大学の教員養成センターは今年で7年目を迎えますが、同センターをゼロから立ち上げられ、今日のセンターにまで発展させてこられました。教職課程の教育においては、大阪女学院大学から教員免許状を取得する学生が英語教員に求められる能力と資質を備えることができるようにと、誰にもまして厳しく学生たちを指導されました。そして、その成果は確実に実り、在学中に教員採用試験に合格する学生が出るまでになりました。

年2回の教員免許状更新講習や月1回の「英語の教え方」勉強会では、中・高の先生方を対象に質の高い講習や研究会の場を提供して来られ、関西一円で圧倒的な人気を誇っておられます。中井先生の講習は、たいていの場合、美しいBGMと美しいスライドで始まります。そしてテンポのよい中井先生の話しが始まるや否や、参加者はあっという間に引き込まれていき、充実した時間が流れます。参加教員の明日からの授業に役に立つようにと、中井先生の講習資料は膨大な量で、講習パワーポイントスライドが100枚を超えるレクチャーも珍しくありません。また、教員養成センター設立以来継続されてきた「英語の教え方」勉強会は、今では毎回20人を超える現場の先生方が授業実践や研究成果を発表し合い議論し合う勉強会に育ちました。講習会や勉強会の参加者アンケートには中井先生のお人柄がよく描き出されています。「熱心で熱意があって情熱的」「楽しい人柄で親しみやすい雰囲気」「わかりやすく興味深くおもしろい」「具体的で役に立つ」「アイデア満載で数々の仕掛けに満ちている」といったコメントが並び、「さすが人気のある講習」との評価が続きます。

また、中井先生が備えておられる“類まれな”お力の一つに、論文や資料の編纂力があります。教員養成センターが毎年発行する『大阪女学院大学教職課程機関誌 OJU 教職活動報告・研究』では初刊以来、執筆と編集を一手に担ってこられ、2009年発行の『大阪女学院大学・大阪女学院短期大学学生の学習に関する意識・実態基本調査 2008 調査報告書』や2010年発行の『Study Skill & Trips at OJC 学びの手引き』は中井先生が学生サポート委員長だった時に編集された冊子です。特に後者2冊子には、膨大な情報の分析や学生のための学びのエッセンスが採録されており、今や大阪女学院の学びのレガシーになっているといっても過言ではありません。

大阪女学院に様々なインパクトを投げかけられ、学生の教育に情熱を注がれ、大学からの情報発信のスポークスマンとして地域社会に貢献してこられた中井弘一先生の、今後さらなるご活躍を祈念いたします。



中井弘一 教授

